

# 多様性を受け入れる事業構成で、スポーツ参画人口の拡大と機会や場の創出に貢献

## 実施背景

人口約162万人の福岡市において、スポーツ参画人口の拡大、スポーツによる健康で活力溢れるまちづくりに貢献することを掲げ、「福岡大学スポーツ・健康まちづくりコンソーシアム」(共同体)を創設した。福岡大学がハブの役割を果たし、自治体(6団体)、企業、地元スポーツチームと連携し、関連事業を展開した。

## 目的(地域課題の解決など)

スポーツ参画人口の拡大と機会や場の創出に貢献することを目的とする。子ども向けに、体力向上策の推進、小学校体育授業支援を行い、社会人・シニア層へは運動機会を創出。豊かな大学スポーツ資源(施設・指導者・学生)の有効活用による福岡市スポーツ推進計画の実現にも寄与することを目的としている。

## 取り組んだ具体的な施策

スポーツ参画人口の拡大と機会や場の創出を行うべく実施された多様性に富んだ事業は小・中学生を含む子どもから、社会人、中高年、さらに障がい者スポーツにもおよんだ。

### 学校教育スポーツ事業

学校教育スポーツ事業として、令和4年11月15日から12月1日にかけて「小学校体育授業支援」が行われた。小学校5年生を対象として各6回の授業支援を行い、その効果を唾液によるストレス度テスト、反応速度テストなどで効果検証を行った。結果として、体育授業への介入によって、子どものストレス値が約15%減少、子どもの抑うつが約15%減少、子どもの疲労が約20%減少するなどの成果を上げることができた。

### 社会人スポーツに関する事業

また、社会人スポーツに関する事業では「楽しく学ぼう!大人のラグビー体験教室」を令和4年10月7日より毎週金曜日、計10回を実施。元日本代表選手などが講師を務め、初心者でも、女性でも楽しめるプログラムを実施した。全国的にも珍しい大人向けのラグビー教室でもあったことから、延べ参加者は約500名におよんだ。



### 中高年健康づくりに関する事業

中高年健康づくりに関する事業では、「カラダづくり講座」を令和4年10月8日および10月23日に実施。「スポーツライフを楽しく過ごすためのカラダづくり」についての講話と、カラダづくりの基礎となるトレーニング・コンディショニング方法の実践を行った。10代から80代までの幅広い年代が参加し、参加延べ人数は約90名となった。

障がい者スポーツ事業として、「ふれあいスポーツフェスタ(サッカー・バスケ)」を開催した。サッカーを種目とした回では、第15回九州・四国スカンピオカップ、ブラインドサッカー体験会を実施。約250名が参加し、障がい者スポーツの理解を深め、障がいの有無に関係なく、共にスポーツを楽しめる機会を創出した。

### 地元スポーツ団体とのコラボレーション事業

地元スポーツ団体とのコラボレーション事業として、福岡ソフトバンクホークス株式会社の協力のもと子ども向け「福岡大学野球教室」を実施。福岡大学総合体育館にて福岡大学野球部員45名とソフトバンクホークスのOB3名による野球教室を開催した。プロ野球OB選手との交流は参加者だけでなく、地元野球部にとっても非常に貴重な交流の場となった。



## 結果と今後の展望

主催事業実施数は合計で10事業、参加延べ人数は約1860人となった。(8月以降、学外者の本学内のスポーツ交流実績1万5千人超)参加者へのアンケート調査では満足度が100%、スポーツ活動への肯定感は99%超、行動変容率も98%超と非常に高水準であった。これらの数字から、スポーツ参画人口の拡大と機会や場の創出に貢献する目標を十分に達成していると言えるだろう。また、今後大学スポーツ施設のIT管理による可視化が進めば、更なる施設の有効活用が可能となり、大学と参画団体との連携事業が進展することが見込める。

## 協力・連携団体

- ・ 福岡市市民局 スポーツ推進部
- ・ 福岡市教育委員会
- ・ 福祉局障がい者部
- ・ 福岡市スポーツ協会
- ・ 福岡市障がい者スポーツ協会
- ・ 福岡市立障がい者スポーツセンター
- ・ ミズノ株式会社
- ・ キリンビバレッジ株式会社
- ・ トゥイプロモーション
- ・ アビスパ福岡株式会社
- ・ ライジングゼファー福岡株式会社
- ・ 九州電力キューデンヴォルテクス
- ・ 株式会社福岡アンクラス



担当者の声など詳細は  
事業MOVIEをチェック!